

人事・倫理委員会（第5回） 議事要旨

1. 日時 平成18年11月29日(火) 13:00～14:20

2. 場所 中日本高速道路株式会社 14階 会議室

3. 出席者 (敬称略)

〈外部委員〉 杉田 和博 委員長 (東京電力(株)顧問)

中山 武憲 委員長代理 (名古屋経済大学 法学部教授)

神尾 隆 (トヨタ自動車(株) 相談役)

川上 敦子 (弁護士)

〈内部委員〉 矢野 弘典 (代表取締役会長)

高橋 文雄 (代表取締役社長)

山本 正明 (専務取締役)

〈幹事〉 横地 國廣 (執行役員 人事部長)、大野 雄一 (総務部長)

〈関係役員〉 別府 正之助 (常務取締役)

〈オブザーバー〉 高橋 達治 (監査役)

〈説明社員〉 原 政司 (総務部 法務チームリーダー)

4. 議事要旨

会議の冒頭、内部委員及び幹事の交替の紹介があった。

また、事務局から、新たに総務部担当となった別府常務取締役を、関係役員として出席させたい旨の申し出があり、委員長が委員に諮ったところ、全会一致で承認された。

【議題1：コンプライアンス・マニュアル（案）について（討議）】

○ コンプライアンスに関する考え方・関連規程類・具体的事例を整理したマニュアルの（案）について、委員会幹事である総務部長から説明がなされた。

○ これについて、外部委員から、

・ コンプライアンスを広義に捉え、CSRの観点も盛り込んでマニュアルが整備されている点など、内容が評価できる。

・ コンプライアンスの実践でもたらされるものは、一義的には「社会からの信頼の獲得」であるべきで、これに言及した箇所のマニュアルの表現を改めるべき。

・ コンプラホットラインを更に有効活用するために、必ず秘密厳守であることを強調するとともに、さらに社員が相談しやすいような工夫をしてはどうか。

・ マニュアルを徹底させるための手法・方法を工夫すべきである。

などの質問・意見が出され、討議の結果、一部の箇所の表現を修正することで、了承された。

【議題2：その他（報告）】

- 事務局から、前回の委員会で討議された就業規則の改正などについて報告がなされた。
- 出席を求めた社員から、コンプラホットラインの運営状況について報告がなされた。

【その他】

- 次回日程については、事務局から改めて連絡することとされた。